

# 人と川が仲良く暮らすために

## ～相模川の河川維持管理～



～堤防点検の様子～  
台風などによる洪水に備え、堤防  
や樋門などの施設に異常がないか  
点検しています。

(国土交通省撮影)

# 相模川のある、豊かな暮らしを守る。

古くから生活用水に使われるなど、人と暮らしを支えてきた相模川。そんな相模川を、みんなが安心・安全に利用できるよう、京浜河川事務所では、災害対策をはじめとする河川の維持管理を行っています。令和6年度に行った河川の維持管理をご紹介します。

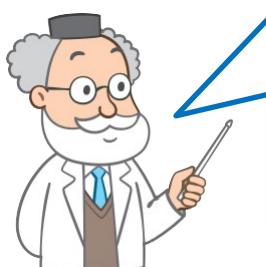


## 相模川ってどんな川？

相模川は、富士五湖の一つでもある山中湖を水源としていますが、さらにその源は日本最高峰の富士山（標高3,776m）です。流域の河川数は実際に100を超える、これら多くの支流を合わせながら、山梨県から神奈川県の中央部を貫くように流れ、相模湾に注いでいます。人々の生活に深く関わってきた神奈川県内最大の一級河川です。



※この河川管理レポートは、相模川の国管理区間に関する維持管理状況について紹介しています。



### 流域とは？

川を流れる水は、山や平地を含む広い範囲に降った雨が集まつたものです。この範囲を“流域”といいます。相模川の豊かな水は周辺都市の水道や電力源としても重要です。

### 【相模川のデータ】

流域面積：約1,680km<sup>2</sup>  
全長：約109km  
流域内自治体数：14市4町6村  
流域内人口：約150万人※

※令和6年度流域内自治体の統計データに基づき整理

## 相模川にある国が管理する施設

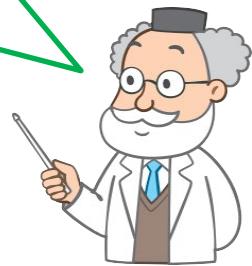
京浜河川事務所では、相模川にある堤防及び平塚漁港の周辺等に設置されている7ヶ所の陸閘※を管理しています。

その他、CCTVカメラや水位計等の観測機器も含め日々点検や確認をしています。

※陸閘(りくこう)：普段は通行のため開放しているが、洪水時には閉めて機能を発揮させるための鋼製ゲート



須賀周囲堤防第4ゲート  
(1989年完成)  
(国土交通省撮影)



## 河川維持管理の仕事とは？

洪水や高潮による災害を防ぐため、気持ちの良い利用環境をつくるため、また豊かな自然環境を守るために「**知る・調べる**」「**守る**」「**つながる**」をモットーとして、相模川の安全と安心を支えています。

# 相模川の流れや堤防に異常がないかを チェックして、安心・安全な環境づくりの ための計画を立てています。

## 水文・水理等観測

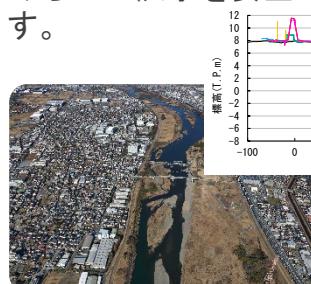
流域に降った雨量や、川の水位、水質などを観測して、洪水や渇水に備えるための対策検討に役立てています。



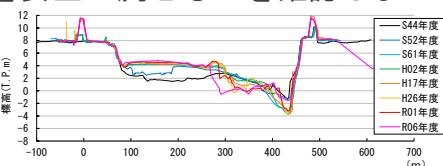
流量観測  
(国土交通省撮影)

## 測量

堤防と川の形状について、おおむね5年に1回の頻度もしくは大きな洪水の後などに測量します。測量データを基に、川がどのくらいの洪水を安全に流せるかを確認します。



相模川の航空写真 (6.2k地点付近)  
(国土交通省撮影)



相模川河床横断重図 (6.2k)  
(国土交通省作成)

## 河川環境の調査

相模川の豊かな環境を守るために、動植物の生息状況や河川の利用実態などを定期的に調べています。

令和6年度は、「植物調査」を行いました。



植物調査  
(国土交通省撮影)

■過去データは『河川環境データベース』で閲覧できます。  
<http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>

## 河川巡視(パトロール)

堤防の状態や安全な利用を確認するためにパトロールしています。

主に、違法行為の発見や堤防の状態、河川の利用状況などを確認しました。

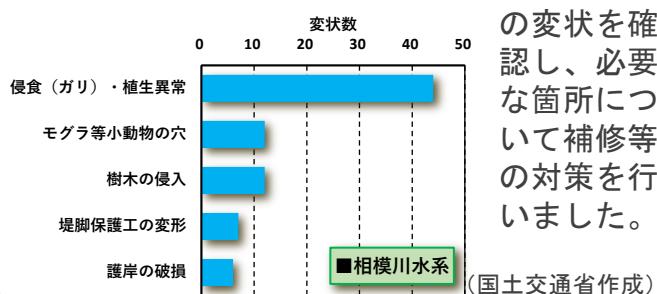


(国土交通省作成)

## 堤防点検

堤防が壊れないように、毎年、堤防や護岸を歩いて異常がないか目視で点検を行っています。

令和6年度は、堤防法面の傷み(侵食・植生異常、樹木の侵入)や護岸の破損など96件



(国土交通省作成)

## 構造物・機械設備点検

平塚漁港の周辺に設置されている7つの陸閘（りくこう）について、洪水や津波などの緊急時に正常に動くよう、目視と計測器を用いて、定期的に構造物や機械設備の点検や運転確認等を行っています。



千石河岸防潮第2ゲート  
(国土交通省撮影)

# 街や人への被害を未然に防ぎ、誰もが相模川とともに安全・安心な生活を送れるようパトロールや点検をしています。



## 堤防除草

堤防点検を適切に行うため、堤防の草刈りを行っています。  
広い堤防での作業は、ハンドガイドと呼ばれる除草機械を用いて除草を行います。



堤防の除草作業  
(国土交通省撮影)

## 安全利用点検

相模川の利用者が増えるゴールデンウィーク前には、堤防や水際、階段などを中心に安全対策や注意喚起が必要なところがないか点検を行います。

令和6年度は、転落防止柵や手すり等の破損・汚損を確認して、危険が及ばないよう修繕等の対策を行いました。



転落防止柵の破損を確認  
(国土交通省撮影)

## 許可工作物の検査

沿川自治体等が管理している樋管等の施設（許可工作物）に故障や不具合がないか確認するための検査を行います。  
対象施設の管理状況を確認し、必要に応じて補修等の対応を指示します。



履行検査の様子  
(国土交通省撮影)

## 電気・通信施設の点検

洪水や災害時などに相模川の様子をリアルタイムで観察できる監視カメラ（CCTV）や水門の遠隔操作施設などの電気・通信施設を定期的に点検・整備しています。



監視カメラ（CCTV）  
(国土交通省撮影)



テレメータ装置  
(国土交通省撮影)

■川の様子が見られる『ライブカメラ』は裏表紙をご覧ください。

## 観測機器の点検

水文・水理観測を行うために相模川に設置している観測機器が、正しく動いているか、異常がないかを定期的に点検・整備しています。また、必要に応じて部品の交換や修繕を行います。



水文・水理観測機器の点検補修  
(国土交通省撮影)

## 洪水・地震時の対応

洪水時には、河川の水位の上昇や堤防などの施設に異常がないか確認するためにパトロールを行います。  
また、震度5弱以上の地震時には、堤防等の施設に異常がないか、速やかに点検を行います。

令和6年度は、8月29日～9月2日の台風第10号接近による出水に対し、河川管理施設の的確な操作により、洪水被害を未然に防止しました。

守る

災害へ備えるとともに、  
誰もが気持ちよく利用できる  
環境を守っています。



## 堤防等の補修

規模の大きな洪水が発生した場合でも、堤防や護岸などの人と街を守る施設が壊されないように、巡回や点検で確認された異常箇所は早期に補修します。

令和6年度は、踏み荒らしや堤防の法崩れなど5箇所を補修しました。



堤防の法崩れの補修  
(国土交通省撮影)

## 安全施設等の補修

相模川を訪れる人々の安全を確保するために、不具合のある施設を補修しました。

令和6年度は、破損した転落防止柵等の9箇所補修を行いました。



転落防止柵の補修  
(国土交通省撮影)

## ゴミの回収(巡回・維持工事)

河川巡回で多く確認されるのが「家庭ゴミ」、「粗大ゴミ」です。これらのゴミは上流から漂着するほか、不法投棄も多数あります。不法投棄されたゴミは投棄者が回収処分するのが原則です。また、ゴミの多い場所を示したゴミマップを作成公開することで、河川での不法投棄が減少するよう啓蒙しています。



不法投棄されたゴミ  
(国土交通省撮影)



相模川ゴミマップ  
(国土交通省作成) HP(河川ゴミマップ)  
<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00265.html>



## Topics

### 「手づくり郷土賞」受賞(NPO法人 暮らし・つながる森里川海)

国土交通省では、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を推進するため、全国各地から応募のあった活動の中から、優れた活動を「手づくり郷土賞」として選定しています。

NPO法人 暮らし・つながる森里川海は、平成13年の設立以降、地域の子どもたちに河川環境を学ぶ場を提供する取組が評価され、令和6年度の「手づくり郷土賞」一般部門を受賞しました。



(国土交通省撮影)

つながる

地域の人々と協力して、  
災害情報の共有や相模川の  
自然を守る活動を広げています。



## 自治体などと協力して行っている取り組み



水防訓練の実施状況  
(国土交通省撮影)



多摩川・鶴見川・相模川共同点検  
(国土交通省撮影)

### 地域と連携した水防活動への取り組み

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取り組みの一つである、「洪水氾濫による被害の軽減、避難時間確保のための水防活動の取り組み」として、地域の関係機関と連携した水防訓練等を実施しています。

令和6年度は、駒岡防災拠点で行いました。



### 多摩川・鶴見川・相模川共同点検

多摩川・鶴見川・相模川において、出水時における的確な水防活動及び避難行動の推進を目的に、関係自治体・水防団（消防団）及び地元住民と共に認識を図るため、特に注意すべき箇所（重要水防箇所等）の点検を共同で実施しています。

## 地域のみなさん参加型の取り組み

### 河川協力団体制度

自発的に河川の維持・河川環境の保全活動等を行っている団体を支援しています。相模川では令和6年度末時点での一つの団体（特定非営利活動法人 暮らし・つながる森里川海）が河川協力団体として指定されています。



水辺の楽校  
(国土交通省撮影)

### 相模川流域治水協議会

「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」のとりまとめ（令和2年7月6日）を踏まえ、相模川流域においても、流域治水を計画的に推進するため「相模川流域治水協議会」を設置し、流域治水の全体像の共有・検討、流域治水プロジェクトの策定・公表、流域治水プロジェクトに基づく対策実施状況のフォローアップなどを実施しています。



相模川水系  
流域治水プロジェクト  
(国土交通省作成)

### 河川相談室

河川行政に対する沿川住民の方々のニーズを把握し、いい川づくりに反映させるため、河川相談室を開いています。河川行政に関するお問い合わせや水質事故等の通報、その他ご意見・ご要望・ご提言などありましたら、インターネットまたはお電話でお問い合わせください。

HP(河川相談室お問い合わせフォーム)

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/tama/project/consultation/soudan.htm>



## Topics

### 「川サポマネージャー」の募集を開始しました

京浜河川事務所では、住民と河川管理者が協働し、河川にかかる異状の発見及び河川環境などの情報提供により、川をまもるサポート「川サポーたる」を令和6年7月から試行中です。その一環として、河川に関する情報提供を行う「川サポマネージャー」の募集が開始されました。



(国土交通省作成)

### 川の情報を知ろう！

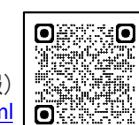
京浜河川事務所では、川の水位や想定浸水域、河川の現況画像など、防災にも役立つ様々な情報をホームページで配信しています。



雨量・水位観測局地点地図  
(国土交通省作成)

### 逃げなきゃコール・ケイヒンモバイルによる情報周知

洪水時の避難などに役立ててもらえるよう、雨量や川の水位情報などを外出先からも確認できるサービスを行っています。



HP(防災情報)

<https://www.mlit.go.jp/river/risp/policy/33nigecall.html>

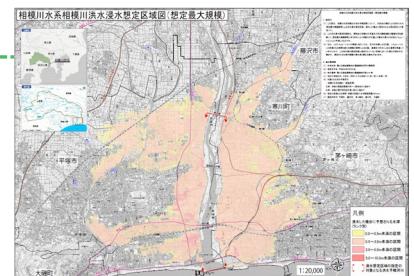
### 洪水浸水想定区域図

万一堤防が決壊してしまった時に、どの場所が水に浸かる恐れがあるかの情報を提供しています。なお、浸水想定区域図に避難場所等を書き加えた洪水ハザードマップは各市区で作成しています。



HP(洪水浸水想定区域図)

[https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index070.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index070.html)



相模川洪水浸水想定区域図  
(国土交通省作成)

### ライブカメラ

京浜河川事務所の管理区間は、河川監視カメラが設置しており、いつでも河川の状況を確認することができます。現在、相模川では5箇所をライブカメラで見ることができます。



HP(ライブカメラ)

<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin01459.html>



ライブカメラ映像  
(国土交通省撮影)

### 京浜河川事務所ホームページ（河川の管理）

京浜河川事務所のホームページでは、本『河川管理レポート』の他にも河川の維持管理に関する様々な情報を発信しています。

また、国土交通省からも様々なリアルタイム情報が配信されています。



HP(河川の管理)

[https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index007.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index007.html)

#### 【京浜河川事務所】管理課

〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-18-1  
TEL.045-503-4013  
FAX.045-503-4023

#### 【相模出張所】

〒254-0026 神奈川県平塚市中堂246-2  
TEL.0463-21-3713  
FAX.0463-22-9154  
担当区間：相模川河口～神川橋